米国でトランプ政権

争相手と見て統合の深 は当初より経済的な競

った。トランプ政権の 化を歓迎してはいなか

観に相

局関税政策で鉄鋼や自

ら見れば、欧州は安全 されていたこととはい が2期目を迎え、予想 深まっている。米国か 州の貢献が十分でない 構 (NATO) への欧 日から北大西洋条約機 いるはずなのに、対ウ の脅威をもろに感じて おいても欧州はロシア う。ウクライナ戦争に ている、と映るのだろ ずに米国にタダ乗りし 保障に十分お金をかけ え、米欧関係の亀裂が た。そもそも欧州連合 衛に積極的では<br />
なかっ 宗は米国からで欧州の クライナ軍事支援の大 として、米国は欧州防 具献は限られている。 (EU)について米国 トランプ政権の一期

## 忽然欧



トランプ政権が2期目に入り米欧の亀裂が深ま (AFP時事) っている

義

•

めており、停戦交渉の 欧州諸国の頭越しに進 深まっていく。ウクラ て、トランプ大統領は イナ停戦交渉をめぐっ 今後も亀裂はさらに

ある。ミュンヘン安全 州の脅威はロシアなど ついての米国の批判で は、民主主義的価値に 刻に受け止めているの る姿勢を見せている。 しEUは対抗措置をと ンス米副大統領は「欧 保障会議に出席したバ は打撃を受けるだろう しかし欧州が最も深 のではなく、内部の問 題だ」として会員制交 の外部勢力からくるも を明らかにした。 スの極右勢力への支援 なく、ドイツやフラン 制を非難しただけでは 規制など欧州の統治体 流型サイト(SNS)

的であり、米国の保守 的にEUに移譲すると 違いが米欧間に大きな 出しており、価値観の を薄め保守色を前面に 政権は米国内において があったし、トランプ 政権とは相いれない面 いう意味で極めて進歩 体、各国の主権を部分 っても過言ではない。 亀裂を生んでいると言 八権、多様性への配慮 欧州統合の考え方自

> 第で欧州の利益との調 進捗(しんちょく)次 ナに対して希少金属開 整が必要になる。 特に米国はウクライ ければ脆弱(ぜいじゃ 止力の差は大きく、米 国のバックアップがな く)な安全保障体制か またロシアとの核抑

違

Н

発の利権を求めてお

ら抜け出せない。トラ

り、ロシアの地下資源 分な防衛産業は育って うだろうが、いまだ十 的防衛体制強化に向か 設を提案しており、中 可能にする防衛基金創 24兆円)の低利融資を 経費の増額やEUとし シアに対して過度に融 と伝えられる。もしロ ての1500億円(約 い反発を買うだろう。 和的な場合、欧州の強 に対しても関心がある 長期的には欧州の自律 欧州は主要国の国防 なるのだろう。 見えない。 の混迷が深まることに が予想され、欧州政治 さらに勢いを増すこと でポピュリスト政党が ランスなど欧州主要国 う。また、ドイツやフ EU統合への動きを止 との亀裂が、さらなる の増大、他方では米国 策についても着地点が めることになるのだろ ンプ大統領の高関税政 一方、ロシアの脅威 (第2・4水曜日に

で価値

国際戦略研究所日本総合研究所 特別顧問

田中 均